

町民の声内容(4月4日)

平成28年度施政方針等について

質問	質問事項	回答	所管課
1	<p>バス路線について さんさんバス路線については個人的にも陳情した思いがあります。 基本的にはバス路線のない路線を対象に支援が基本施策と認識していますが、既存のバス路線にも関わらず路線を設けた理由が理解できません。</p>		
2	<p>町内誌発刊に伴う誤字等の見逃しについて 町内誌の「かがやき」ページP22の「シュミレーション」とありますがチェックされましたか 自分が現役のとき「文書立案・伺い・指示(通知)する場合は必ず「査閲喚問」があり了解が得られて初めて指示・通知が可能のとうりゆうもんがありました「行政誌」では必要ないですか 誰もが間違える(理解されていない)がゆえに「シミュレーション」が正解です。</p>		
3	<p>一般会計予算に対して小倉議員の報告書見ないと詳細は理解できないことと思います。</p>		
3-1	<p>参議院議員選挙費-1600万円 ・選挙費用にいくら必要 一般財源1600万円の必要性根拠(理解不足差額▲100万円か)</p>		
3-2	<p>新築建屋固定資産補助金217万円 ・地方創世の一貫事業として理解できますが「55件」の根拠 旧町ベースの内訳 (尋ねた理由:なぜ自町は何が足りないか判断)</p>		

<p>3-3</p>	<p>賦課徴収費になぜ4000万円か ・システム導入のためになぜ3000万必要か 全国八頭町と同レベルの行政のシステム運用をしているのか比較されましたか そしてあえて申しあげるのなら何のための「議員含めての」視察をしていますか? 私は、現役でいるときに社員をひきつれて福島に出張しました その時目に留まったのが「合理化ツール」の運用でした。 その後私か上司とともにそのツール導入に向け奮闘し導入しました。 ランセンス購入からランニングコスト含め少子を説得し導入に至りました。 単純に「他人のものまね」従ってそこまでの発想が職員・議員にありますか? だから視察に疑問を持つ住民が発生すると思います。</p>		
<p>3-4</p>	<p>電算システム一般管理費4500万円 ・国の事業にも関わらずなぜ市町村が費用負担する必要があるのですか 本行政ではほんシステムは必要なとした場合はどうなりますか? 国としてあるいは当行政として</p>		
<p>3-5</p>	<p>地方創世推進事業11839万円 ・一般財源1800万円の詳細はそして極端に傾斜投資の方向とありますが、どう理解すればよいですか?一番楽なところへの投資となっています。今後の投資に対する「費用対効果」をどうシミュレーションされたか伺います。</p>		
<p>3-6</p>	<p>情報通信基盤整備事業4000万円 ・基盤・整備・維持の分野における費用の内訳を明確にする必要がある。 理由:基盤費用(インフラ拡充) 整備(減価償却期間オーバー設備がなん%) 維持管理:現役設備が固定資産ベースでいくらだからいくらというぐらいに詳細な内訳を求めます。</p>		

3-7	町営バス事業費3300万円 ・10人乗りバス新規購入の根拠はどこ の路線に必要とするのかあるいは「他 の目的」か		
3-8	若桜鉄道対策費150万円 ・14000万円で十分事足りると考えま すがさらに一般財源から150万円出す 必要性はなんですか？		
3-9	地方創世推進事業3000万円 ・イノベーション(技術革新)を勘違いし ています 既存の組織体の一部移行事業だと考 えます。 それ以外の費用の内訳を明確化。		
3-10	放課後児童運営費700万円 ・さらなる一般財源の算出根拠は		

3-11	児童手当給付事業5000万円 ・財源負担の内訳 何歳がいくらでなくて年齢別に対する費用の内訳が意味がある 理由:投資に対する効果検証を必要とするところが弱いかにより迅速な今後の対策の明確化を図る		
3-12	保育所施設整備費74930万円 ・内訳を明確になぜ新設か(中学校・小学校のリホームでは) 設計費委託費・工事費(請負費・材料費)		